

東京23区探索徒歩の旅

【2】 足立区

2014年2月1日(日)

【1】	はじめに	1月1日
【2】	足立区	2月1日(日)
【3】	荒川区	2月
【4】	板橋区	3月
【5】	江戸川区	3月
【6】	大田区	4月
【7】	葛飾区	4月
【8】	北区	5月
【9】	江東区	5月
【10】	品川区	5月
【11】	渋谷区	6月
【12】	新宿区	6月
【13】	杉並区	7月
【14】	墨田区	7月
【15】	世田谷区	8月
【16】	台東区	8月
【17】	中央区	8月
【18】	千代田区	9月
【19】	豊島区	9月
【20】	中野区	10月
【21】	練馬区	10月
【22】	文京区	11月
【23】	港区	11月
【24】	目黒区	12月



1. 旅前の足立区の印象

葛飾区出身の小生にとって、同じ下町の外れの足立区に対し子供の頃からライバル心あり。葛飾区は、足立区、江戸川区に勝っていると思っていた。車のナンバープレートの”足立”は、マナーの悪さで、大阪の”和泉”と日本1位2位を争うと言われており、全国で地名は有名。(葛飾区も足立ナンバー) 足立区の竹ノ塚は、埼玉県だと思っていた。千住大橋駅は、荒川区だと思っていた。結論、小生、足立区の事は、ほとんど知らなかった。

2. 足立区紹介

東京23区の北東部に位置し、隅田川と荒川に挟まれた地区と、面積の大半を占める荒川以北の地区とに分かれている。武蔵国の足立郡が、1878年(明治11年)に南北に分かれた南足立郡の10ヶ町村が前身。「足立」の由来は、もと万葉仮名で「阿太知」だったものを諸国郡郷名著好字令により置き換えたと思われるほか、日本武尊(または坂上田村麻呂)が立てるようになったという伝説や「葦立ち」の転じたものとする説もある。南東の荒川南岸に位置する千住地区は、江戸時代には日光街道と奥州街道の第1宿「千住宿」であり、現在はターミナル駅である北千住駅を擁する区内随一の繁華街となった。総人口665,179人。

3. 今回の足立区徒歩の旅

1) ルートと全体概要

(1) 往路

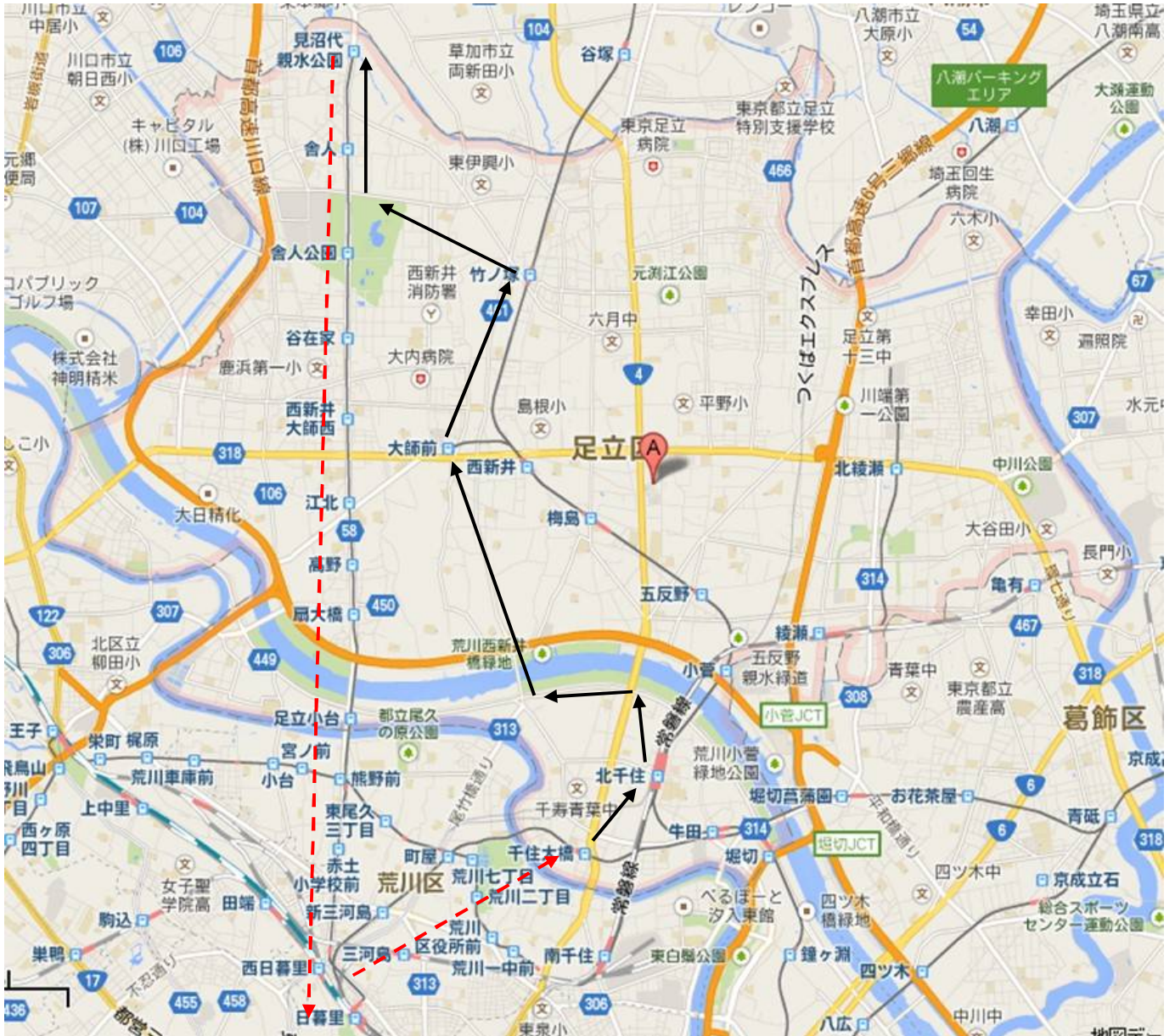
大月駅 → (中央本線) → 神田駅 → (山手線) → 日暮里駅 → (京成本線) → 千住大橋駅

(2) 徒歩の旅

千住大橋駅 → 北千住 → 荒川土手 → 西新井大師 → 竹ノ塚 → 舎人公園 → 見沼代親水公園 17km

(3) 復路

見沼代親水公園駅 → (舎人ライナー) → 日暮里駅 → (山手線) → 東京駅



2) 徒歩の旅 ドキュメント

5時00分

起床。外は真っ暗で寒いが元気に布団から飛び出す。

今日は、記念すべき東京23区徒歩の旅の初日。

足立区に行く。

朝から牛丼となめこの味噌汁、パワー、パワー。

家内に大月駅まで送って貰う。

昨日、納車されたばかりの青い折笠プリウスα。

パノラマルーフは空を見上げるためにOPT装着したが、大正解であった。



5時37分

大月駅発。

電車の中では、これまたお初のモバイルパソコン、
パナソニックLet's note AXにデータ入力。

靴はソロモンXR CROSSMAX最新兵器。

ズボンはmarmotのトレッキングパンツ。

全てにおいてモデルチェンジ実施。

もちろん気分も一新。

小生は2月1日で新設TS技術部所属になる。



7時37分

京成電鉄 千住大橋駅に到着。

ここは、足立区の最南端に位置する。

記念としてトイレ大。(犬じゃないんだから・・・)



千住大橋駅

7時45分

出発、駅周辺は雑然としている。

国道4号線・日光街道を北上する。



日光街道

7時50分

旧日光街道に移る。

この辺は千住市場問屋街。

千住の発展は、文禄3年(1594年)に徳川家康により千住大橋が架けられたころから始まる。

市場が形成され、東照宮に続く日光街道の宿場として賑わいを見せたという。



本町商店街

7時58分

旧日光街道を北千住駅に向かって進む。

本町商店街を通過中。

なんか妖しい雰囲気のある街で怪しい人(男女共)が歩いている。

8時05分

北千住駅着。

大ターミナルだけんどちよってあかぬけない。

道にはゴミがたくさん落ちている。



北千住駅

8時15分

再び旧日光街道宿場町通りに戻る。

横山家住宅:江戸時代の伝馬屋敷 風情あり。

名倉医院:江戸時代に骨接ぎを開業し、

名医として名を馳せた。



横山家住宅



名倉医院

8時28分

荒川に出る。雄大な景色が広がる。

お花畑もある。

ここから西新井橋まで川沿いを北上する。



荒川



西新井橋を見る

8時32分
なにやら立派な足立区立中央図書館有。



足立区立中央図書館

8時40分
西新井橋が見える。ここを渡って西新井大師に向かう。

8時52分
西新井橋を通過中。



西新井橋から荒川を見る

9時10分
本木中央通り商店会を通過。
超下町風の八百屋さんが有。

9時40分
東武鉄道大師駅着。
なんて立派な駅なんでしょう。
大師線は単線で西新井駅から一駅しかないローカル線。
その昔、東武鉄道はここから更に西に延長して
東武東上線(池袋発)に繋げる計画があったそう。



大師駅

9時45分
西新井大師に到着。詳細は次章トピックス参照。
大きくて素晴らしい。
屋台がいっぱい。節分祭があるみたいだ。
小生、このようなお祭の風景が大好きである。



西新井大師

10時05分
参道のお煎餅屋でからし煎餅いを買う。
辛くて体の芯から温まった。
頭の毛穴から汗が出る感じ。
それでは、竹ノ塚駅を目指して出発。



10時15分
途中の満願寺のお地藏様。千羽鶴で飾られていた。
色合いが素晴らしい。



10時30分
尾竹橋通りを黙々と歩いている。



お地藏様

10時40分
東京地下鉄株式会社竹ノ塚車両基地。
日比谷線の車両が止まっている。全て中目黒行である。
少し前、東急東横線との乗り入れを止めてしまった。
鉄道ファンとして寂しい。



竹ノ塚車両基地

10時46分
竹ノ塚駅手前踏切、全然開かない。
東武線は複々でたぶん竹ノ塚までが一番ダイヤの密度が
濃いはずである。
6列車通過するまで開かなかった。
皆、いらいらするわけでもなく、気楽に待っている。
これも生活の一部なのだろう。



竹ノ塚開かずの踏切

11時05分
竹ノ塚駅を後にして舎人公園を目指して西方向に歩いている。
雨が降ってきた。

11時27分
舎人(とねり)公園到着。
非常に広く、施設が点在している。
公園のコンセプトは？
バーベQ場、大きな池、食堂などがある。
バードウォッチングしている人をウォッチング。

11時52分
舎人公園を後にして見沼代親水公園を目指す。
途中、舎人駅を通過。
中々、近代的な風景である。
そろそろお腹が空いてきた。

12時10分
開店したばかりの幸楽苑があった。
お客が並んでいたが、一度も入ったことがないし。
豚骨こってりチャーシュー麺大盛 590円 (大盛無料)
ライス 150円を頼む。
美味~い。こってり感が最高~。冷え切った体も温まった。
強いて言うと量がもう少しあっても良い。

12時30分
元気に出発。

12時35分
見沼代親水公園に到着。
桜が咲く頃は、さぞ綺麗だろうな。

12時47分
埼玉県県境に来た。草加市になる。
近くのマクドナルドへ。
たぶんここが、東京で一番北にある
マクドナルドではないか。
ここで、ブログの原稿作成を実施。
家で作成するより現地で作成の方が
臨場感が増すと思われる。
モバイルパソコンの効果である。

14時10分
見沼代親水公園駅で都営日暮里・舎人ライナーに
乗る。無人の新交通システム。
加速も良くスピーディー。見晴らしも良い。
現代技術と景観がマッチしている。
都営であるが、足立区だけのローカル感
があるが...



舎人公園



幸楽苑で昼食



見沼代親水公園



埼玉県境



都営日暮里・舎人ライナー

14時32分
 日暮里駅着。
 東京駅経由で大月に帰る。
 電車の中では、データまとめや写真整理を実施。
 非常に時間を有効に使えるが、反面、一杯飲めない。
 次回からは、半々位にしようかな。

17時30分
 大月駅着。青い折笠プリウスαが迎えに来てくれた。

3)トピックス

(1)西新井大師

空海(弘法大師)が関東巡錫の途中、西新井を通った際に、本尊である観音菩薩の靈託を聞き、本尊の十一面観音を彫り天長3年(826年)に寺院を建立したことに始まるとされる。

江戸時代中期に建立された本堂は昭和41年(1966年)火災により焼亡したが本尊は難を逃れた。本堂は昭和46年(1971年)に再建され現在に至っている。

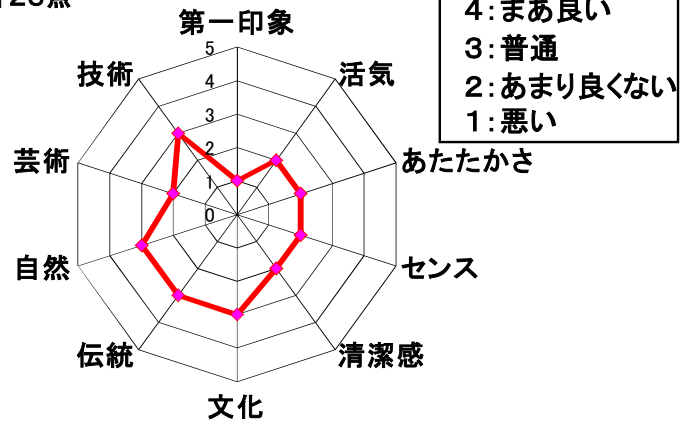
川崎大師と共に「関東三大師」の一つに数えられ、毎年正月には初詣の参拝客で賑わう。境内には弘法大師によってもたらされたとされる加持水の井戸がある。この井戸が本堂の西側に所在することが当地の地名である西新井の名の由来とされている。

4. 旅後の足立区の印象

1)評価

評価項目		点数
主観的評価	第一印象	1
	活気	2
	あたたかさ	2
	センス	2
	清潔感	2
客観的評価	文化	3
	伝統	3
	自然	3
	芸術	2
	技術	3
合計		23

足立区
 合計23点



2)全体を通して

足立区は、全体を通して、街中がゴミゴミしていて道などにゴミが落ちていて清潔感に乏しい。西新井大師の様な立派な文化財があり観光名所でもあるが一体感がない。舎人公園など雄大な公園があるが、コンセプトが明確でなく、浮いている感じ。日暮里・舎人ライナーが区の西側を走るが、何故新交通システムなのか、何故このルートなのか、何故都営なのか?? 足立区に対し、かなり厳しい評価になったが、一番必要なのは、明確な区のコンセプトと全体のバランスである。

5. 自身思っていることに対するフィードバック

- 23回/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる
 →1回の準備、実施、レポート作成は、相当な労力と時間を要する。
 23回は時間の確保が大きなチャレンジとなる。
- 最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする
 →マイクロソフトXPから8.1は、大きな変化でパソコン時間が倍掛っている。
 慣れるしかない。
- (3)有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられない
 (ただし、移動中のブログ作成の中で、帰りは飲んでしまうので勘弁下さい)
 →帰り飲む程の精神的、時間的余裕がない。
- (4)田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか
 →足立区では磨かれなかった。
- (5)自分なりの日本の心を構築していく
 →まだまだほど遠い。